

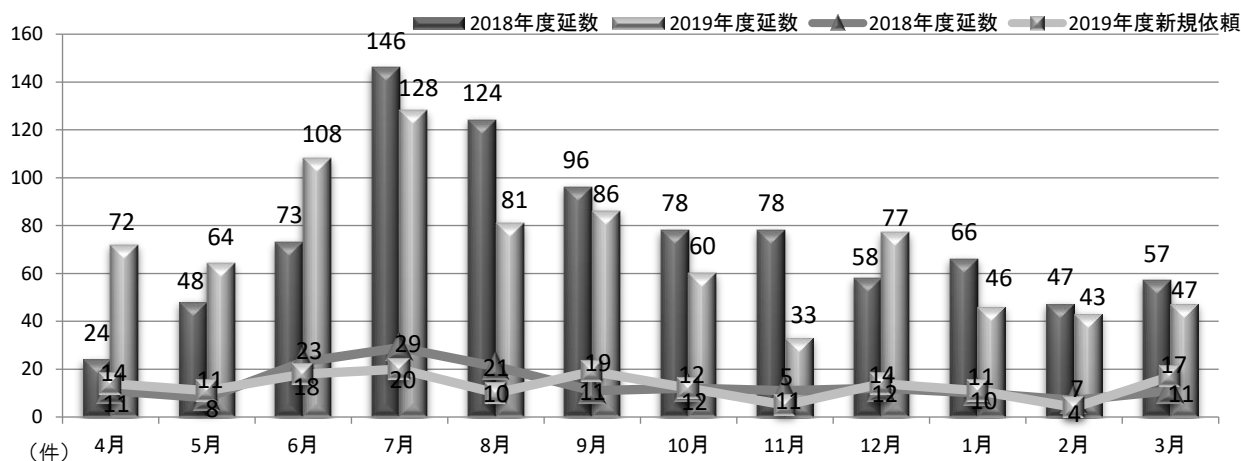
## VI 精神科リエゾンチーム



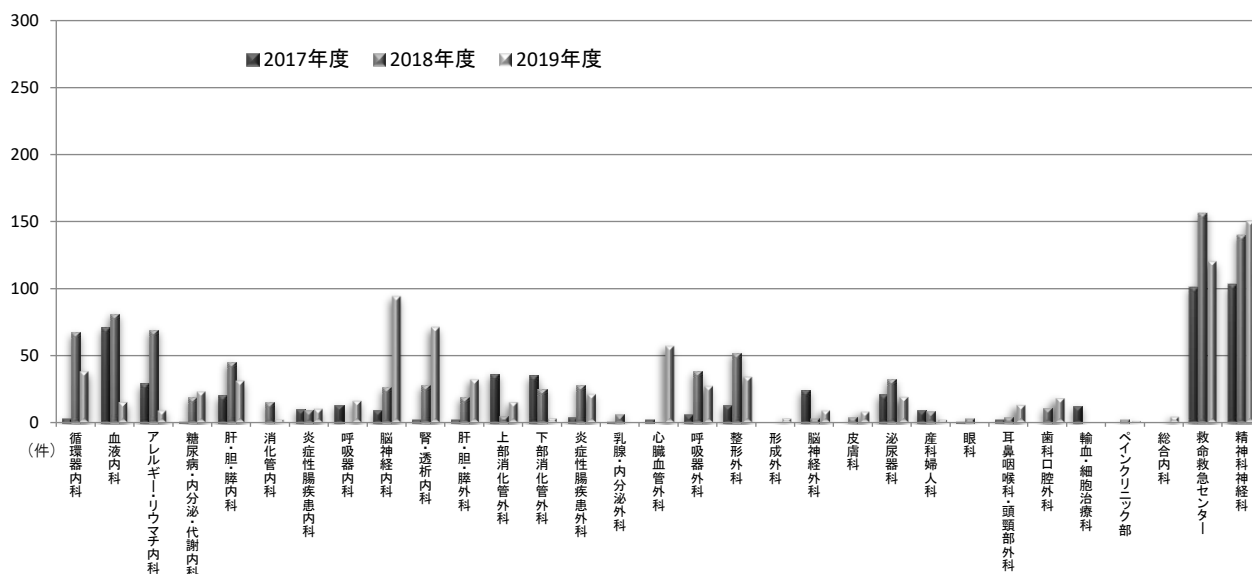
近年、救急病棟や内科病棟に入院する患者さんの中で、精神的な問題を生じる人が増えている。精神科リエゾン医学はそういった、一般病棟での精神的な問題に対応するために発展してきた身体とところをつなぐ医学である。精神科リエゾンチームは、この精神科リエゾン医学の考え方を基に、多職種が連携し、身体とところのつながりに焦点をあてた医療や支援のため、2012年10月から活動を始めた。2019年度の実施延件数、新規依頼件数および診療科別の推移は下記の通りである。

本年度における件数は、昨年度に比べ、新規依頼件数、延件数ともにわずかに減少しているが、高い数字を維持している。介入した科、疾患は多岐にわたっており、さまざまな身体疾患において、精神的なフォローの重要性がうかがえる。その中でも救命救急センターからの依頼件数は新規、延人数とも最大である。これには、救命救急センターにおける継続的な精神科リエゾンチームのかかわりが必要、かつ重度の症例が多いことがまず考えられる。ニーズが高まっているが、マンパワーが少ないというのが精神科リエゾンチームにおける現状である。今後は各科からの期待に応えるためにも、まずはマンパワーの確保が必要と考えている。

VI-1 年度別月別精神科リエゾンチーム実施延件数（2018年度合計895件、2019年度合計845件）と新規依頼件数



VI-2 精神科リエゾンチーム診療科別実施延件数の年度別推移（2017年度合計530件、2018年度合計895件、2019年度合計845件）



## VI-3 年度別精神科リエゾンチーム診療科別実施延件数

(件)

区 分	2015 年 度	2016 年 度	2017 年 度	2018 年 度	2019 年 度	2019年度 構成比率 (%)
循 環 器 内 科	51	64	3	67	38	4.5
血 液 内 科	130	101	71	81	15	1.8
アレルギー・リウマチ内 科	142	140	29	69	9	1.1
糖尿病・内分泌・代謝内科	7		1	19	23	2.7
肝 ・ 胆 ・ 膵 内 科	94	75	20	45	31	3.7
消 化 管 内 科	3	39		15	2	0.2
炎症性腸疾患内科	9	12	10	9	10	1.2
呼 吸 器 内 科	27	28	13		16	1.9
脳 神 経 内 科	27	22	9	26	94	11.1
腎 ・ 透 析 内 科	25	14	2	28	71	8.4
小 児 科						
肝 ・ 胆 ・ 膵 外 科	37	1	2	19	32	3.8
小 児 外 科						
上 部 消 化 管 外 科	83	90	35	5	15	1.8
下 部 消 化 管 外 科	64	23	36	25	3	0.4
炎症性腸疾患外科	26	37	4	28	21	2.5
乳 腺 ・ 内 分 泌 外 科		5	1	6		
心 臓 血 管 外 科	33	38	2		57	6.7
呼 吸 器 外 科	32	31	6	38	27	3.2
整 形 外 科	265	123	13	52	34	4.0
形 成 外 科	9	12			3	0.4
脳 神 経 外 科	38	34	24	3	9	1.1
皮 膚 科	9	5		4	8	0.9
泌 尿 器 科	31	27	21	32	19	2.2
産 科 婦 人 科	34	29	9	8	2	0.2
眼 科		1	1	3		
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	28	31	2	4	13	1.5
歯 科 口 腔 外 科	7	34		11	18	2.1
輸 血 ・ 細 胞 治 療 科	25	21	12	-		-
ペインクリニック部		1		2	1	0.1
総 合 内 科					4	0.5
救 命 救 急 セ ン タ ー	55	108	101	156	120	14.2
小 計	1,291	1,146	427	755	695	82.2
精 神 科 神 経 科	2	191	103	140	150	17.8
合 計	1,293	1,337	530	895	845	100.0